

SPAC × 国際交流ラウンジコラボイベント報告

大学生の悩み？幸せってなに？

今 回（4月11日）は静岡県立劇団「SPAC」から制作部の方をお招きし、ゴールデンウィークに開催される「ふじのくに⇒世界演劇祭2023」にちなんだイベント「若者の悩みってなんだ？」を実施しました！

取り上げていただいた作品は、韓国が舞台で韓国の監督や俳優さんによる演目「XXLレオタードとアナスイの手鏡」でした。多様性が1つのテーマになっていて、セウォル号沈没事故をきっかけに作られた作品のようです。さらに、「Mee too運動」や「パンデミック」といった時代が進むごとに私たちが直面するテーマも取り入れながら、進化している作品。今回、日本での公演は初めてだそうです！

SPACの方からは、作品やその背景を紹介していただき、それをもとに韓国の高校生活や大学進学、韓国についての印象を話し合ったり、自分が高校生のときのことについて、グループでシェアしたり。参加者は、4月に入学したばかりの学生や、インドネシア・ベトナム出身の学生、また大学の職員の方もいて、さまざまな立場から、お互いの感想や考えを交換する機会になりました。タイトルにもなっている「ANNA SUI」

（ファッションブランド）を巡って、ジェネレーションギャップを実感する瞬間もありました…



イベントの後半では「若者の悩みについて考えよう」というテーマに基づき、ワールドカフェ形式で参加者の皆さんが今抱える悩みを出し合ってもらいました。人間関係や就活、将来のこと、自分とは誰なのか？というアイデンティティのこと、恋愛のこと、奨学金のことなど、皆さんいろんなことに悩んでいるようでした。



イベントの最後にSPACのスタッフの方から「この演目の主人公の悩みは、レオタードを着ることが好きなのにそれが許されないこと。最初はなぜそれがそれほど重要な悩みなのか分からなかったけど、内容を何度も読むうちに、彼の気持ちがだんだん理解できるようになった」というコメントがありました。

確かに、誰かにとっての悩みが別の人にとっては大したことがなかったり、誰かにとっての幸せが別の人にとっては不幸なこともありますよね。その視点、感じ方の違いをお互いに受け入れていけたときに、少しずつみんなの幸せが増すのかな、と考えさせられたイベントでした。

S PACさん、素敵な企画ありがとうございました！

今後もいろんな方々とコラボしながらイベントを開催していくので、今回参加できなかった方も、ぜひ次回ラウンジでお会いしましょう！